

# 同志社大学

## 2008年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2009年 2月 23日提出

所 属	職 名	氏 名
法 学 部	教 授	出 原 政 雄
研 究 題 目	近代日本の平和思想史に関する研究	
研 究 成 果 の 概 要	<p>(1) 「近代日本の平和思想史に関する研究」 に関しての研究成果は以下の通りである。</p> <p>①論文 「戦争と知識人—満州事変以後の反戦平和論」 西田毅編 『概説日本政治思想史』 ミネルヴァ書房、2009年、277～296頁。</p> <p>②報告 「近代日本における西洋平和思想の受容—カントとトルストイを中心に—」 (政治思想読書会、2009年1月24日)。</p> <p>(2) その他の研究成果</p> <p>①論文 出原政雄編著 『歴史・思想からみた現代政治』 法律文化社、2008年、(分担論文「愛国心—知的伝統の再発見」35～61頁)。</p> <p>②報告</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 「矢内原忠雄の民族論」(比較ナショナリズム研究会、2009年1月31日)。この報告は、在外研究(2008年2月～7月)における成果の一つで、2009年3月の科研成果報告書に提出する予定である。</li><li>・ 「自由民権期における同志社と早稲田」(シンポジウム「早稲田と同志社 創立者の想いと交流から」同志社社史資料センター・早稲田大学文化推進部共催、2008年11月22日) この報告は、『同志社談叢』29号に発表予定。</li></ul>	